『坂の上の雲』まちづくり講演会

―北条の魅力を語る―

早坂　暁さん

「夢千代日記」「花へんろ」「ダウンタウンヒーローズ」などの代表作で知られる本市（旧北条市）出身のシナリオライター・早坂暁さんを講師に招き、北条地域の魅力などを語ってもらう講演会を開催します。

【日時】 ３月21日（月・祝）13～15時（開場は12時30分）

【会場】 北条ふるさと館（河野別府）

【内容】 早坂暁さんによる講演「この町はどんな町か」（大会議室）▼懐かしの昭和展（展示室ホールほか）

【定員】 ２００人（先着順）

【申し込み】 ３月10日㈭（必着）までに、往復はがきで郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号（はがき１枚につき１人記入）を〒790‐8571坂の上の雲まちづくりチーム「講演会」係へ

※返信はがきが入場券になりますので、当日お持ちください

お問い合わせは、坂の上の雲まちづくりチーム☎948‐6995・FAX934‐1804へ

子規にゆかりの作品発表会と講座

第16回「はがき歌」全国コンテスト作品発表会

短歌形式で相手に思いを伝える「はがき歌」全国コンテスト。８２３６点の応募の中から、入賞作品１０８点の発表会を開催します。観覧者にはコンテストの作品集を差し上げます。

【日時】 ３月20日㈰14時～15時30分（開場13時）

【会場】 子規記念博物館（道後公園）４階講堂

【定員】 ３００人（先着順。当日会場で受け付け）

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください

子規博講座　前期　４～９月

【日程・内容など】 下表のとおり

【対象】 子規に関心がある人または俳句などの創作活動に興味がある人

【料金】 各講座５００円

【申し込み】 ３月15日㈫（必着）までに、往復はがきで希望する講座番号（はがき１枚につき１講座）・郵便番号・住所・氏名・電話番号を〒790‐0857道後公園１―30㈲子規記念博物館「子規博講座」係へ

番号	講　座　名	日　時	定員(人)	講師（敬称略）
1	子規博俳句教室 （初心者対象）	第2土曜日 14:00～16:00	30	松山俳句協会役員 弓　矢　登志子
2	子規博短歌教室 （初心者対象）	第3土曜日 14:00～16:00	50	松山歌人会役員
3	初学万葉講座 （万葉集を分かりやすく読む）	第3日曜日 14:00～15:30	90	子規記念博物館館長 竹　田　美　喜
4	子規博セミナー （子規の文章を読む）	第4土曜日 10:30～12:00	25	子規記念博物館 学　芸　員
〈新規〉 5	子規入門講座 （中学生以上対象）	第2土曜日 10:00～11:30	30	子規記念博物館館長 竹　田　美　喜

お問い合わせは、㈲子規記念博物館☎931‐5566・FAX934‐3416へ

3/1～「自転車等放置禁止区域」

銀天街東部地区を指定

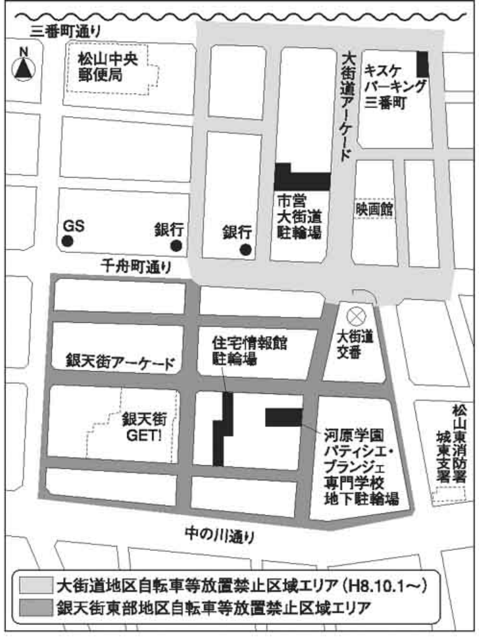
～路上駐輪禁止！駐輪場をご利用ください～

湊町三丁目周辺の駐輪場が整備されたことに伴い、３月１日㈫から銀天街東部地区（左図参照）を「自転車等放置禁止区域」に指定します。禁止区域内では、自転車と原動機付自転車の放置を禁止しますので、駐輪場（短時間無料などのサービスもあります）をご利用ください。

警告しても放置が続く場合は、自転車・原動機付自転車を撤去し、市営大街道駐輪場（大街道一丁目）で３日間保管、４日目以降は和泉自転車保管所（和泉北一丁目）に移します。

お問い合わせは、総合交通課☎948‐6421・FAX934‐1807へ

銀天街東部地区
自転車等放置禁止区域エリア図



救急体制充実へ決意新たに

救急業務の充実を目指す第19回全国救急隊員シンポジウムが２月３・４日、市民会館を主会場に開かれ、消防職員や医師ら延べ５７８８人が参加。実務的な研究発表や講演などで知識・技能の向上に努めました。

救急隊員らが災害時の消防と医療の連携を実演

お問い合わせは、㈲警防課☎926‐9227・FAX926‐9188へ

野外活動センター体育館テニスコート

利用予約 つばきネットで

4月分の申し込み　3月1日～

４月１日以降の野外活動センター体育館・テニスコートの利用希望者は、つばきネットからの予約が必要となるため、事前につばきネットに登録してください。

利用月の１カ月前の１～７日が抽選申し込み期間となり、４月利用分の申し込み開始日は３月１日㈫です。

お問い合わせは、野外活動センター☎977‐2400・FAX977‐2662、スポーツ振興課☎948‐6597・FAX934‐1287へ

地域で育つ松山っ子

第６回　雄郡小学校

児童数　男272人・女297人・計569人
（平成23年2月1日現在）

俳句で地域との触れ合いを

人と人をつなぐ「和の教育」の中で「雄群（地域）に学ぶ」教育を展開している本校は、地域に「子規堂」があるなど俳句に親しむ環境に恵まれており、全校で俳句作りに取り組んでいます。毎月、子どもたちが作った俳句の中から「子規さん賞」「きらり賞」を選び、校内に掲示したりテレビ放送で紹介したりすることで、その思いを共有しながら俳句への関心を高めています。

また、全校児童１人１句ずつを載せた句集「ゆう」を年１回発行。家庭や地域の公民館、中学校などにも配布しています。

雄郡夏祭りで水軍太鼓を披露

８年ほど前からは地域の商店街とも連携し、子どもたちの俳句を商店街に掲示しています。「地域の子の句なので、より関心をもって見てくれているし、地域の人も楽しみにしています。俳句をより身近に感じてもらえるきっかけづくりにもなってうれしいです」と笑顔を見せる末広町商店連盟の会長も本校の卒業生です。

ころもがえ
去年の笑顔
とびだした
商店街に子どもたちの俳句を掲示

ほかにも地域と学校が連携して、夏祭りやもちつき大会、お年寄りとの昔遊びなど、子どもたちが生き生きと体験できる活動に取り組んでいます。

今後も、地域と学校が手をつなぎ温かく見守る中で、雄郡っ子たちの豊かな感性と地域を愛する心がますます育っていくことを期待しています。

松山っ子の声

「俳句が飾ってあるよ」と言われて商店街へ見に行くと本当に掲示してありました。みんなが見てくれるのでうれしいです。（3年男子）

商店街を通ると俳句に込められたいろんな思いが感じられて、とても温かい気持ちになります。俳句の掲示はぜひ続けてほしいです。（6年女子）